

最優秀に口田君(倉田 敷小) あいさつの大切さ動画で

さんデジに
動画



ん太ホールで初めて開かれた。最優秀賞に倉敷市立箭田小4年口田道哉君(10)が選ばれ、来年3月に東京で開催予定の全国大会に県代表で出場する。

「もっと好きになるわたしたちのまち」をテーマに作ったソフトやロボットなどを募集し、1次審査を通過した10人と1団体が出場。ごみを分別するゲーム、カブトガニの卵を狙う鳥を光や音で警告する装置などを紹介し、教育関係者ら4人が発想、技術、説明の分かりやすさなどを審査した。

県内の小学生がプログラミングを駆使してまちづくりのアイデアを発表する「おかやまキッズプログラミングアワード2020(山陽新聞社など主催)の最終審査会が27日、岡山市北区柳町の同社さ



いさつの大切さを伝える動画を制作。学校のベストを尽くしたい」と話した。他の受賞者は次の皆さん。(敬称略)

優秀賞 綾部奏太(岡山市立三敷小5年)
▽両備システムズ賞 藤原蓮(笠岡市立金浦小5年)▽おもちゃ王国賞 KAGATORIG(備前市立香登小6年)

身近なあいさつをまちづくりに生かそうとする発想が評価された口田君「緊張したけどうまく伝えられた。全国大会でも

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。

あいさつの大切さを伝える動画について説明する口田君